



# わがちあう 仕事も家庭も喜びも

もうあなたの家庭ではジヨウシキですか？  
6月は男女共同参画推進月間です

韮崎市男女共同参画推進委員会では、「男女共同参画社会」の実現を目指し、様々な活動を行っています。男女共同参画社会とは「男女がお互いを尊重しあい、家庭、職場、地域、学校、などの社会のあらゆる分野で、性別にかかわらず、その個性と能力を発揮し、喜びや責任を分かち合うことができる、不当な性差別のない社会」のことです。

今月は推進月間にちなんで平成19年度、地域のみなさまのご協力やご支援で行われた、推進活動の一部や取り組みを推進委員さんに報告していただきました。

「輝いて、ひらめいて、葦崎プラン」 (葦崎市男女共同参画推進計画)

～こんなところにも・こんなことから～ ー推進委員報告ー

男女共同参画グランドゴルフ大会

委員会では男女が共に力を出し合う活動の機会として、また、男女共同参画が楽しく実感しあえる活動としてグランドゴルフ大会を取り上げました。

竜岡町越道地区の区長さんを先頭にグランドゴルフ愛好会の皆さんと区民の皆さんが全面的に協力してくれました。この愛好会は男性ばかりで組織し、企画・運営全て男性ばかりで実施してきましたが、今回、男女が共に力を出し合える機会にするために計画の段階から女性が加わり、当日の準備や運営にも勿論女性が積極的に参加しました。女性も男性も子どもも加わり、楽しく和やかなグランドゴルフ大会になりました。男女共同参画推進活動は、このような楽しい活動から、地域自治活動へと広げていけるものと確信しました。

介護も男女共同参画で

高齢者の介護は、家族全員で当たるのが何より大切です。そのことによって高齢者は安心して家庭で暮らしていくことが出来ます。高齢者介護を家族の中で女性だけに負わせるのは負担が大きすぎます。最近は、介護にかかわる男性が多くなってきていますが、子も孫も家族みんなで介護を考え、助け合うことが大切なのではないでしょうか。家族だけでの介護が困難なときはすすんで公共サービスを利用しましょう。そして、力をあわせて住みよい高齢化社会にしていきましょう。高齢者の介護はあなた自身の心を豊かにします。男性も女性も子どもも進んで介護に参画しましょう。

防災訓練を男女共同参画で

「阪神・淡路大震災では、関連死も含め、高齢女性の犠牲が目立ち、さらに、被災の数週間後には、保育所や学校が閉鎖するなか、子どもや高齢者の世話で出勤できなかった女性が白い目でみられ、ひどい場合は解雇された。被災のストレスを、女性への暴力で晴らそうとするケースもあった。」(神戸新聞記事より)

このような状況を繰り返さないためには、防災や復興の計画に「女性の視点」や男女共同参画の理念を組み込んでおく必要があります。

旭町では男女共同参画推進委員が主催し、男女共同参画の理念を組み込んだ防災訓練を実施しました。

高齢者や子どもたちにも出番が用意され本当の意味での、住民総参加の訓練になったようです。いざというときの備えになることはもちろんですが、男女共同参画の考え方を理解する上でも、とても有効であると思いました。



旭町防災訓練での炊き出し

男女共同参画推進委員の退任にあたって

中国に「遅いのはこわくない。こわいのは立ち止まること」という言葉があります。

本市では平成18年に葦崎市男女共同参画推進条例が制定されました。先輩たちの社会を良くしようとする強い思いと立ち止まらない力強さのお陰で実現したのだと思います。

私も4年間委員として推進の仕事に携わり多くのことを学びました。今、思えば男女共同参画という言葉すら知らない段階から始めました。委員になり、学習機会に恵まれて、学習するうちに、この活動は女性のためばかりではなく、男性のためでもあることが少し分かってきたような気がします。

「一口食へただけでは太らない」これは、メタボリックシンドロームの戒めの言葉ではありません。何事も急にできるようなになるわけではないという意味です。

推進条例は私たちの目標を示し、そこに至る道筋を現した地図であります。時々地図をひろげ、立ち止まらないで進みましょう。



清水 一さん

「葦崎市男女共同参画推進委員を平成16年から4年うち委員長を平成18年から2年間務め今年3月退任」

6月の標語

休日

は みんなでしよう

家庭の仕事

毎月第1日曜日は、

男女共同参画の日

男女は平等であるべきです。  
中国には昔から「天の半分は女性が支える」という言葉があります。

**家事はまったく平等に分担する**のが当たり前です。早く帰った方がする、上手な方がする、当前でしょう。

子どもの躰は父親・母親に権利がある。

父親の責任はたくさん収入を得ることではなく、人間としての責任を果たすことである。

**家を支えるのは家族全員の責任**です。



## ラム2007

日時 平成19年12月1日(土)

午前10時から午前11時45分

場所 東京エレクトロン藤崎文化ホール

3人の意見が大変参考になりました。本人の意志を尊重して、思いやりを持った、社会のルールを守る子どもの育成が出来る家庭が樹立できるよう努力したい。(50代 女性)



外国の方々の日本在住者ということで、とてもよかったと思うが、推進委員の方の声もほしかった。日本人の躰、社会への影響を考えて反省すべき面がたくさんあることに気づいた。ありがとうございました。(70代 女性)

それぞれの国の歴史、宗教の違い、国の政策等から教育が成り立っている。他国の良いところをまねすることは否定しないが、日本は日本らしく考え、親の教育、子どもの教育を早急に見直すことが必要だと思います。男女がそれぞれの特徴を生かし、それぞれの役割を果たすことが大事なことである。(60代 男性)

藤崎市男女共同参画推進委員会では男女共同参画社会実現のためにさまざまな活動をしています。  
ここで紹介するのはその中の一つで、藤崎市が主催し、推進委員会が主管した推進フォーラム2007の様子です。  
私たちは、自分たちの常識や習慣については、あまりにも当たり前になっていて、疑わないうで生活しています。ところがよその国の人から見たら、ちょっと変と思われるような常識や習慣があるようです。  
そこで今回は、「外国人からは、日本の男女共同参画がどう見えるのか」外国で生まれ今は日本で暮らしている方に語ってもらいました。  
会場の東京エレクトロン藤崎文化ホール小ホールには二五〇名を超える方々が参加し熱心に、楽しくお話を聞いていました。  
会場には多くの男性が参加していました。藤崎市以外からの参加者は、男性の参加が多いことに驚いていました。



男らしさ、女らしさは誰が決めるの？

**人間らしく生きることが大事**なのではありませんか。性差は自然に出てくるもの、予め決めるものではないでしょう。



## にらさきヒューマンフォー

### 外国から見た日本の男女共同参画



#### 参加者の声

外国人パネラーさんの話を聞き日本人と考え方が違うことがわかった。良いところは取り入れていこうと思いました。差は認めて差別は認めない。(60代 女性)

男女共同参画社会については、我々の社会の中でもかなり定着してきている。特に若い世代では、かなり理解されている。ただ、中高年の世代の中にはまだ、理解していない人も多い。これは、若い頃に受けた教育や社会生活の中で身につけたことが影響しているためではないかと思われる(男も女も)。(60代 男性)

#### にらさきヒューマン フォーラム2007 パネルディスカッションから

今回のフォーラムでは、外国で生まれ、日本に永く住まれているイギリス、中国、オーストラリア出身の3名の方にパネラーとしてご登壇いただき、私たちの国の男性と女性の意識や行動、慣習などに「ちょっと変だ」、「理解できない」、「困っていること」など、自国の場合と比較してお話しいただきました。

歴史的、文化的、教育的、宗教的に異なったそれぞれの国の「男女共同参画」は、我が国より進んでいるような気がします。

韮崎市男女共同参画アドバイザー  
山梨大学客員教授 向山健生

差と差別の違いが良くわかりました。躰については親である自分たちの考え方、生き方を問われていると感じました。職場においても、家庭においても、自立した人間であることが大切であると改めて思いました。(40代 女性)

県内・市内に外国出身で、素晴らしい考えを持って生活したり、家庭を築いている人がいることは素晴らしい。もっと、もっと、あちらこちらで活躍してほしい。新しい時代、世代に向かってがんばってほしい(60代 男性)